

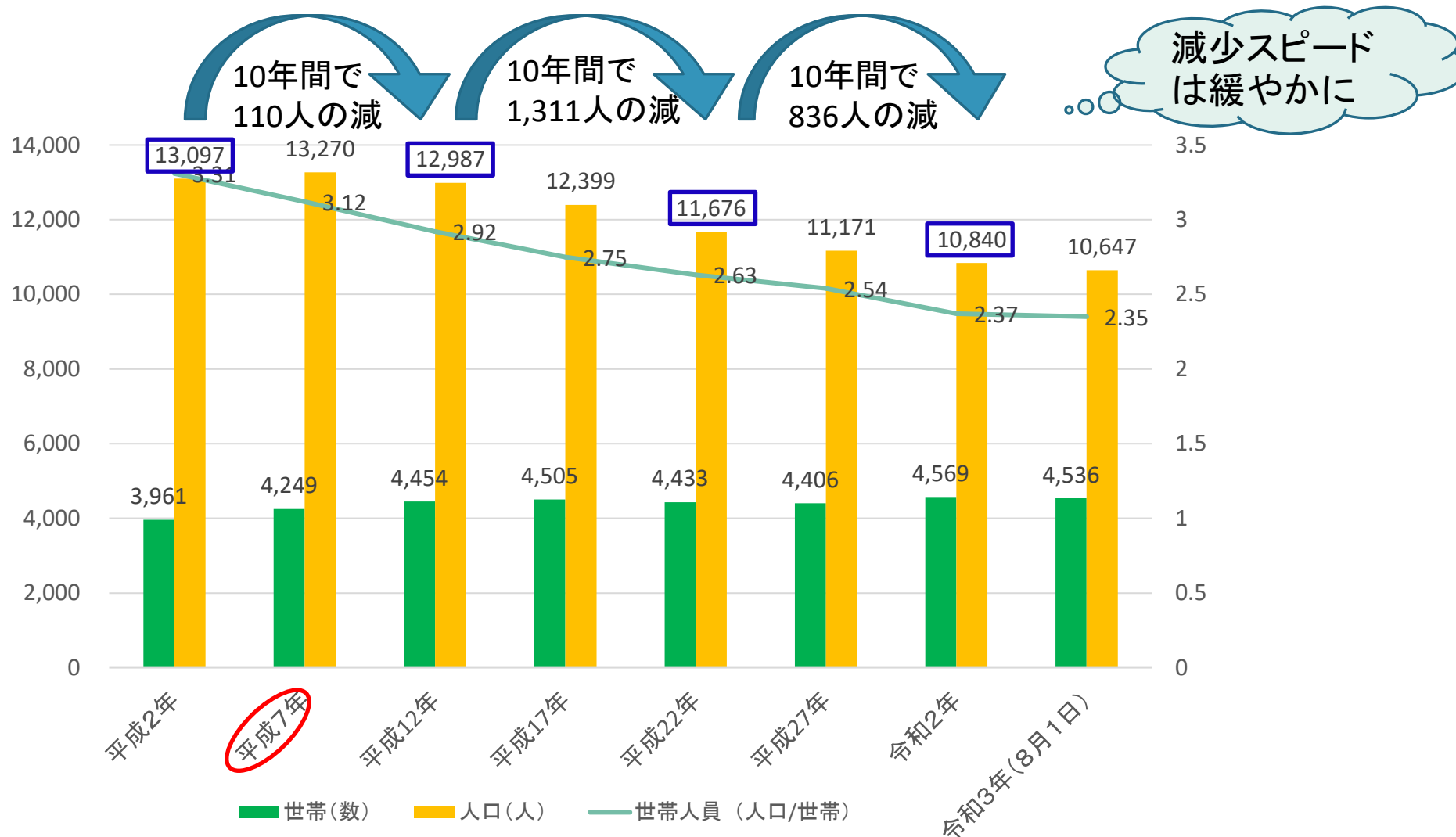
# I 町の人口推移

---



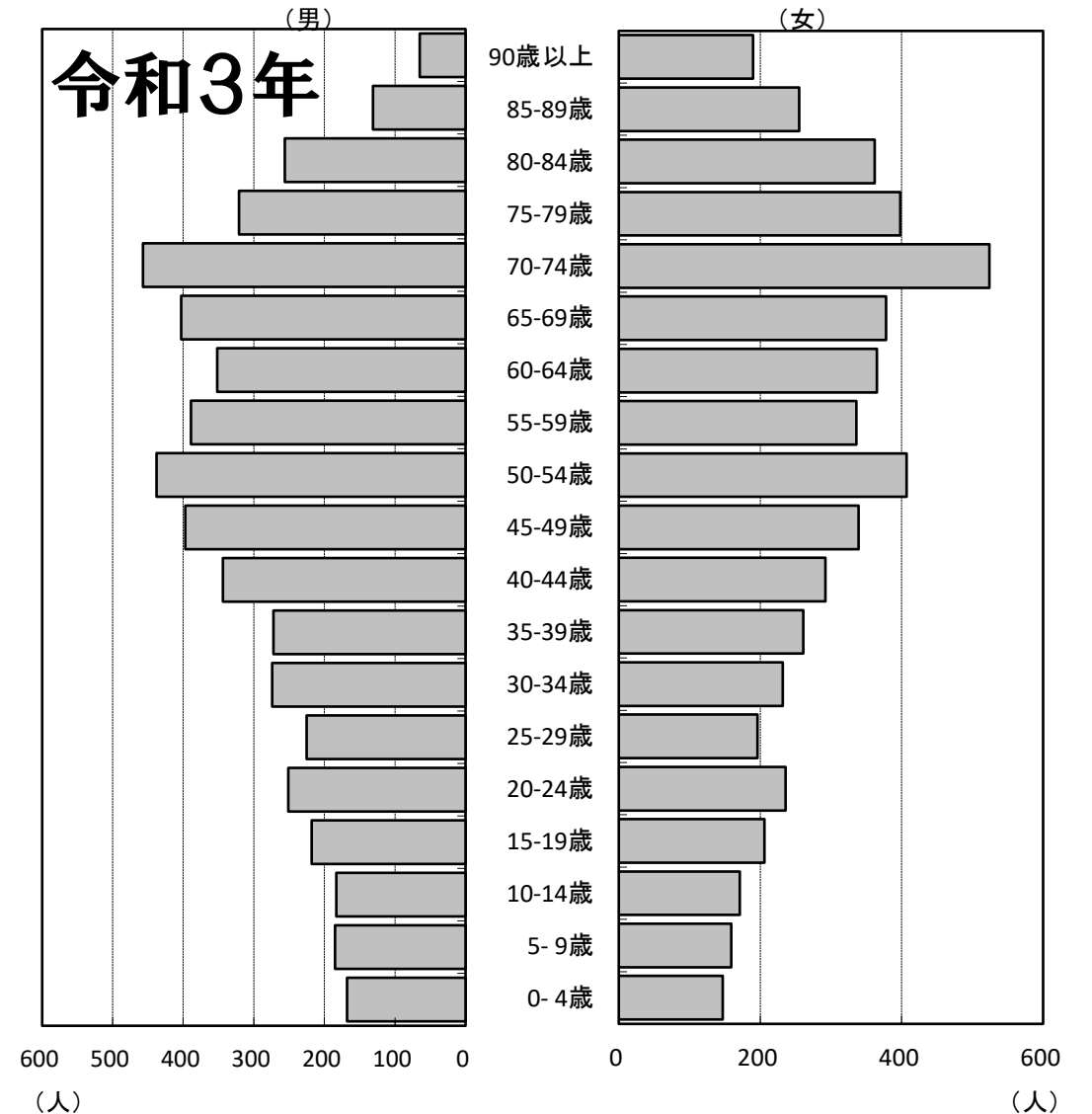
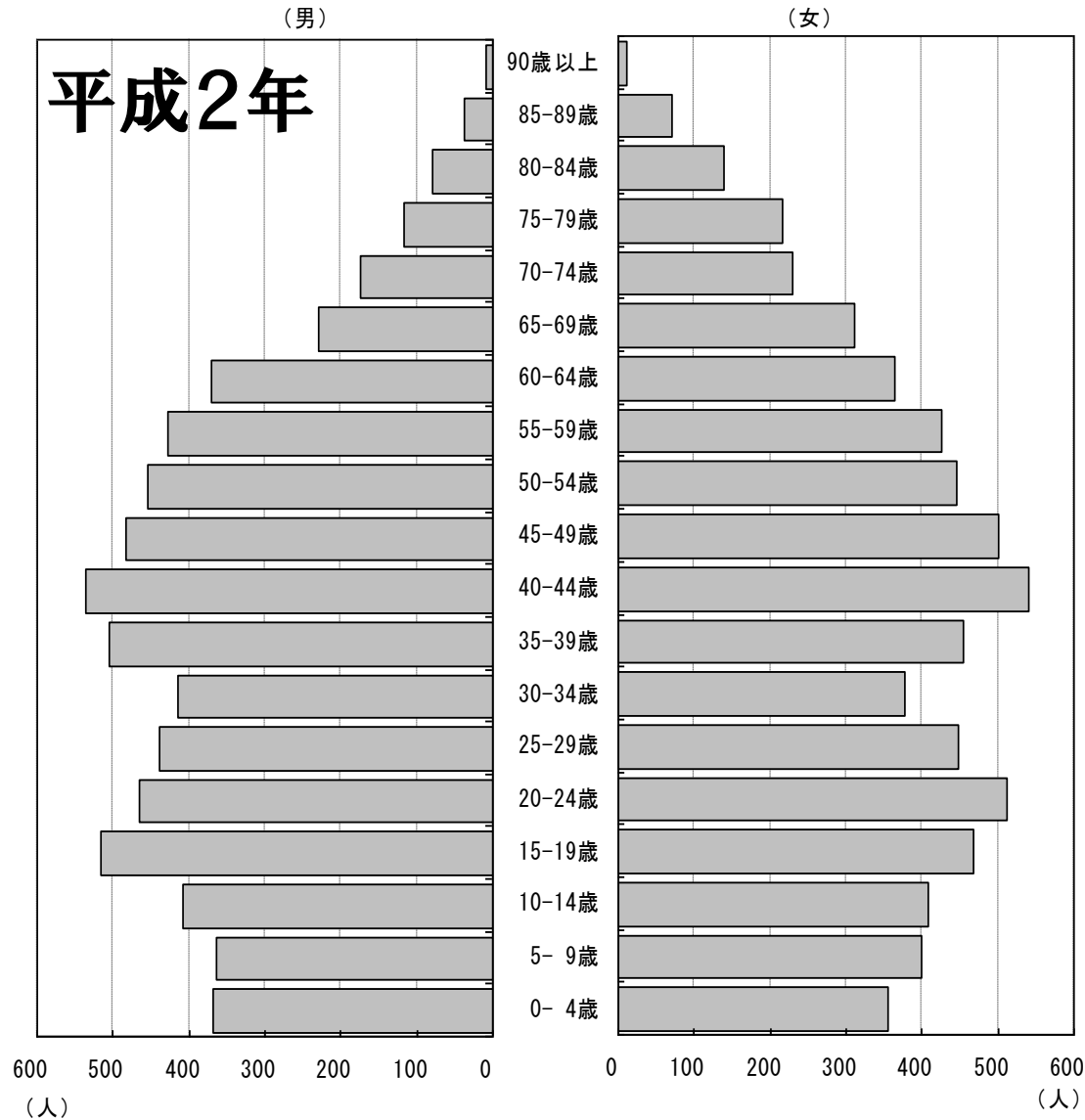
# 町の人口は、平成7年から26年間で2,623人減少

出典：国勢調査(人口統計調査)



# 人口構成はピラミッドからツボ型へ

出典:住民基本台帳人口

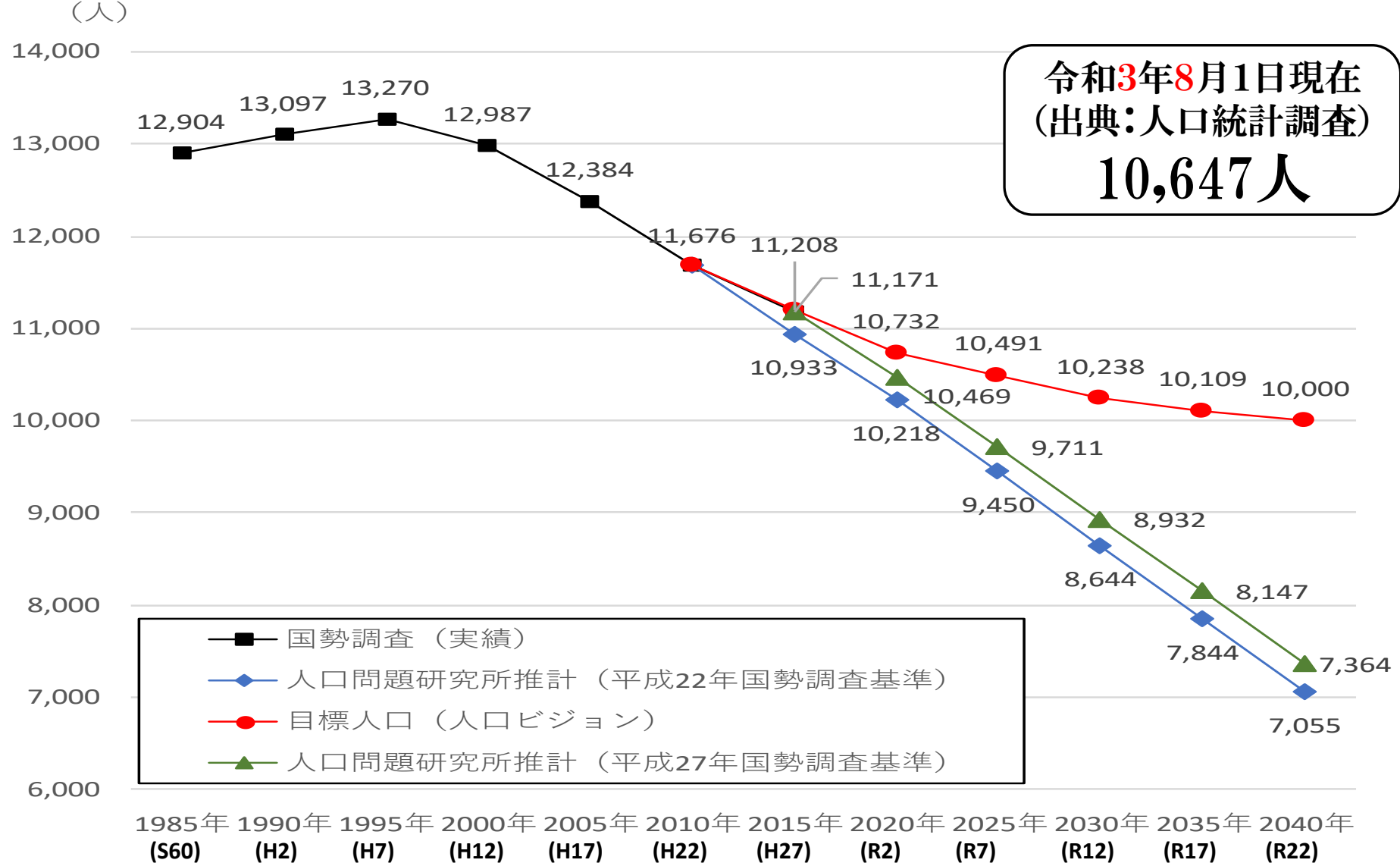


# 自治会別人口推移

出典:住民基本台帳人口

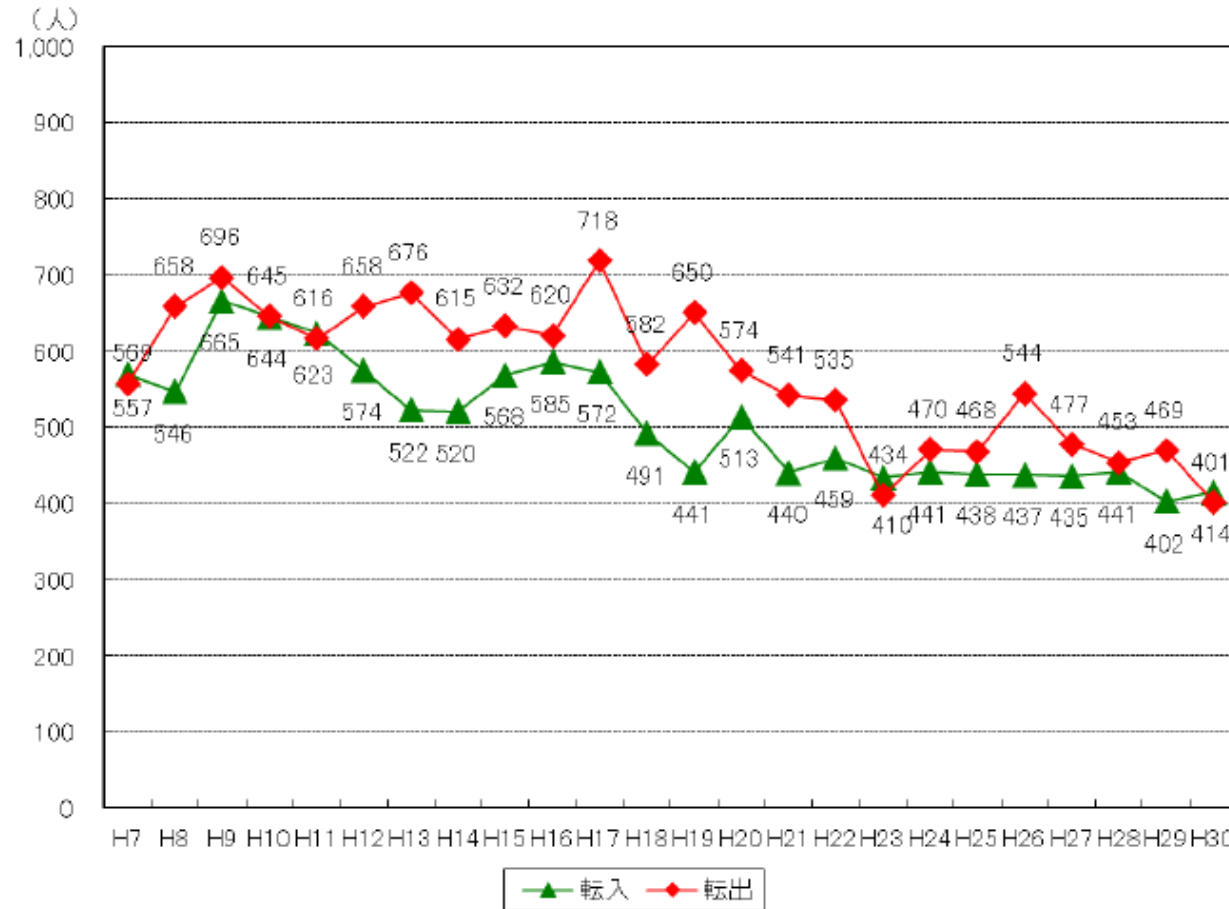
自治会	平成2年	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年		令和3年8月1日	
	実数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数	実数	増減数
町屋・店屋場	1,532	1,583	51	1,779	196	1,832	53	1,881	49	2,039	158	2,342	303	2,302	-40
神山	1,029	1,031	2	1,074	43	1,012	-62	943	-69	870	-73	844	-26	846	2
茶屋・河内・中丸	1,849	1,831	-18	1,641	-190	1,469	-172	1,353	-116	1,242	-111	1,170	-72	1,136	-34
中央	341	306	-35	278	-28	250	-28	218	-32	230	12	206	-24	201	-5
仲町	568	543	-25	472	-71	415	-57	377	-38	329	-48	328	-1	320	-8
新松田	269	234	-35	261	27	225	-36	218	-7	181	-37	160	-21	153	-7
谷戸	447	416	-31	383	-33	360	-23	328	-32	310	-18	274	-36	262	-12
中沢	259	229	-30	211	-18	172	-39	164	-8	151	-13	116	-35	110	-6
沢尻	851	884	33	911	27	888	-23	815	-73	825	10	783	-42	764	-19
谷津	350	345	-5	350	5	358	8	372	14	400	28	382	-18	362	-20
宮前	330	327	-3	292	-35	323	31	261	-62	258	-3	234	-24	234	0
かなん沢	470	466	-4	499	33	517	18	492	-25	433	-59	419	-14	415	-4
中里	680	698	18	664	-34	601	-63	540	-61	495	-45	469	-26	470	1
城山	877	878	1	846	-32	901	55	943	42	902	-41	824	-78	829	5
仲町屋	971	877	-94	761	-116	715	-46	649	-66	629	-20	589	-40	567	-22
松田地区	10,823	10,648	-175	10,422	-226	10,038	-384	9,554	-484	9,294	-260	9,140	-154	8,971	-169
萱沼	208	211	3	216	5	183	-33	147	-36	136	-11	105	-31	104	-1
弥勒寺	684	937	253	964	27	924	-40	858	-66	732	-126	623	-109	615	-8
中山	69	51	-18	43	-8	40	-3	35	-5	31	-4	27	-4	25	-2
土佐原	82	93	11	101	8	91	-10	73	-18	58	-15	47	-11	46	-1
宇津茂	248	316	68	323	7	306	-17	269	-37	241	-28	203	-38	209	6
大寺宮地	277	292	15	296	4	277	-19	251	-26	235	-16	202	-33	199	-3
虫沢田代	409	478	69	481	3	438	-43	401	-37	352	-49	305	-47	290	-15
湯の沢	356	365	9	383	18	385	2	347	-38	337	-10	324	-13	324	0
寄地区	2,333	2,743	410	2,807	64	2,644	-163	2,381	-263	2,122	-259	1,836	-286	1,812	-24
町全体	13,156	13,391	235	13,229	-162	12,682	-547	11,935	-747	11,416	-519	10,976	-440	10,783	-193

# 令和22年度の人口は10,000人を目標



# 転入転出の状況

## ▶ 転入・転出（社会増減）の状況について



過去3年間の推移

	転入	転出	社会増減
H30	980	991	-11
R1	1040	982	58
R2	470	573	-103
R3(※)	471	557	-86

(※10月まで)

転出が転入を上回る転出超過（社会減）の状態が長く続いています。減り具合はやや減少傾向にあります。

また、世代別の流出状況については、34歳以下の若い世代において特に多くの流出が見られます。

# II これまでの移住支援策

---



# 住まいに関する支援制度

## 住宅取得促進奨励金

- 町内に住宅を取得した場合10万円を交付

## 二世帯同居等支援奨励金

- 親世帯が町内に居住している場合において、同居する住宅を取得した場合30万円  
そうでなくても住宅を取得した場合20万円を交付

## 民間賃貸住宅家賃補助

- 空き家バンクに登録された賃貸住宅へ入居する世帯に対して家賃の一部を補助する。（月額1万円を商品券で交付。）



# 移住セミナー・移住相談

## ➤ 移住セミナー

東京にある、ふるさと回帰支援センターにて、移住希望者向けに松田町を紹介するセミナーを実施。

(ふるさと回帰支援センターは、全国各地の移住情報の提供をしている機関)

## ➤ 移住相談

そのほか、町の情報や空き家の問い合わせに対して、定住少子化担当室へメールや電話、窓口にて問合せがある。

今年度、オンラインによる移住相談も開始した。

# Ⅲ 空き家問題

---

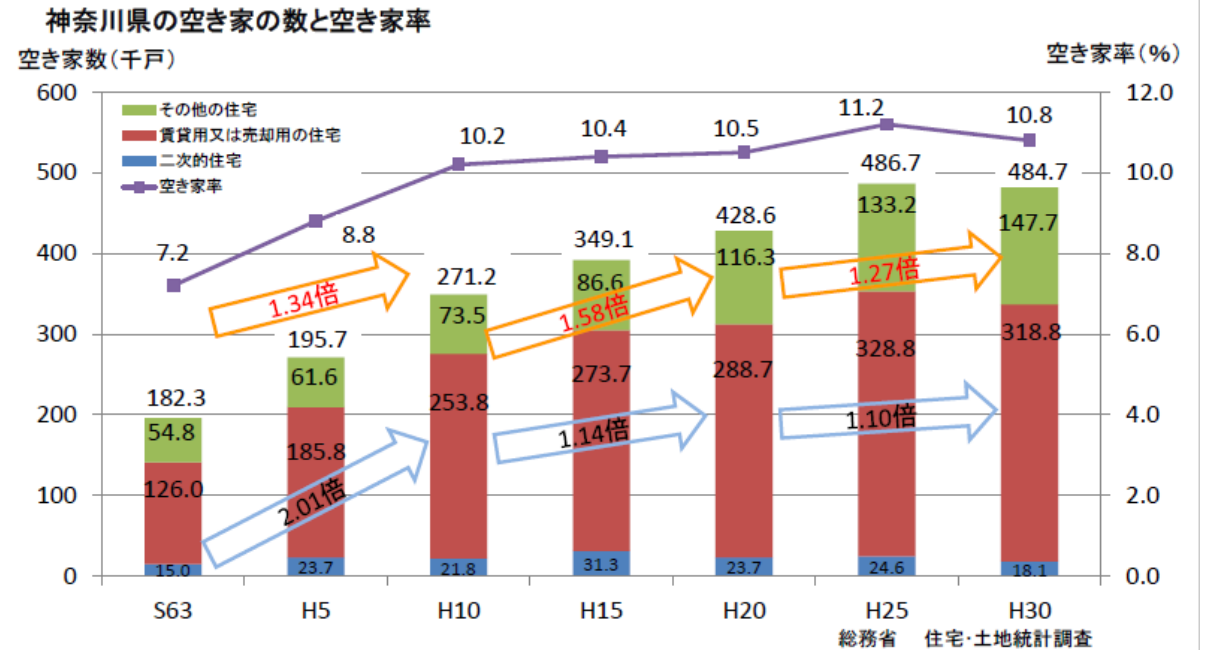


# 空き家・空き地の問題

人口減少、超高齢社会が到来し、全国的に空家や空地が増加し、松田町だけでなく、全国的に問題が表面化してきている。特に管理不十分な空家等の問題は、防災・防犯・安全・衛生・地域の活性化・景観の保全などの面から周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼすおそれがある。そうした背景から、平成26年に空家等対策の推進に関する特別措置法が制定された。

## ◆神奈川県内の空き家の現状

- 神奈川県の空き家の戸数は、約48万戸で、全国で3番目の多さであり、今後一層増加することが懸念されている。
- なかでも「その他の住宅」の増加率が增大している。



# 松田町における空き家・空き地

平成26年に実施した空家実態調査

- ◆ 対象 町内全域
- ◆ 実施体制 役場職員により実施
- ◆ 調査結果 空家と思われる件数

⇒**60**件

- ◆ 平成28年 **松田町空家等対策計画**  
を策定

⇒計画の基本方針、現状や課題の整理、空家等対策の取組みについて定めた

# 町内の空家と空地は、空家バンク制度で利用を促進

## ●民間支援のバンク制度

町では、空き家物件の所有者と利用希望者をマッチングするバンク制度により、空家や空地の利活用を促進しています(令和元年度より空き地情報を追加し運用を開始)。

また、平成26年度に宅建協会と協定を結んだ結果、登録・成約件数は大幅に増加しました。

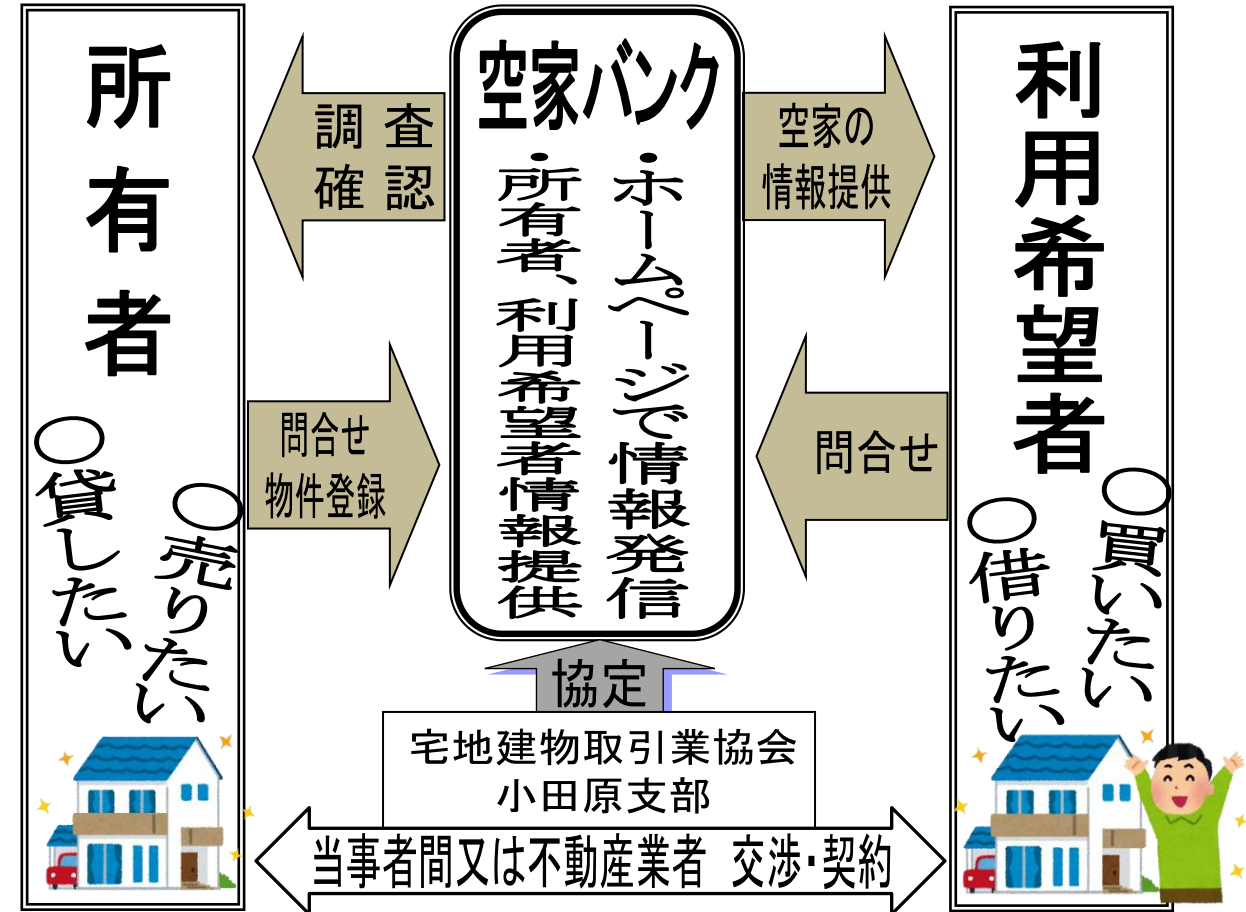
戸建タイプの空き家への入居を希望する問合せが多く、町では空き家バンクの掲載物件へ入居する方に一定の要件を満たす場合、家賃の一部を補助しています。

《参考》 協定締結前(H25年度末)  
延べ登録件数 8件

⇒令和3年6月1日現在  
延べ登録件数 126件(空地8件を含む)  
延べ成約件数 46件



## ▼松田町空家バンク制度(H19～)



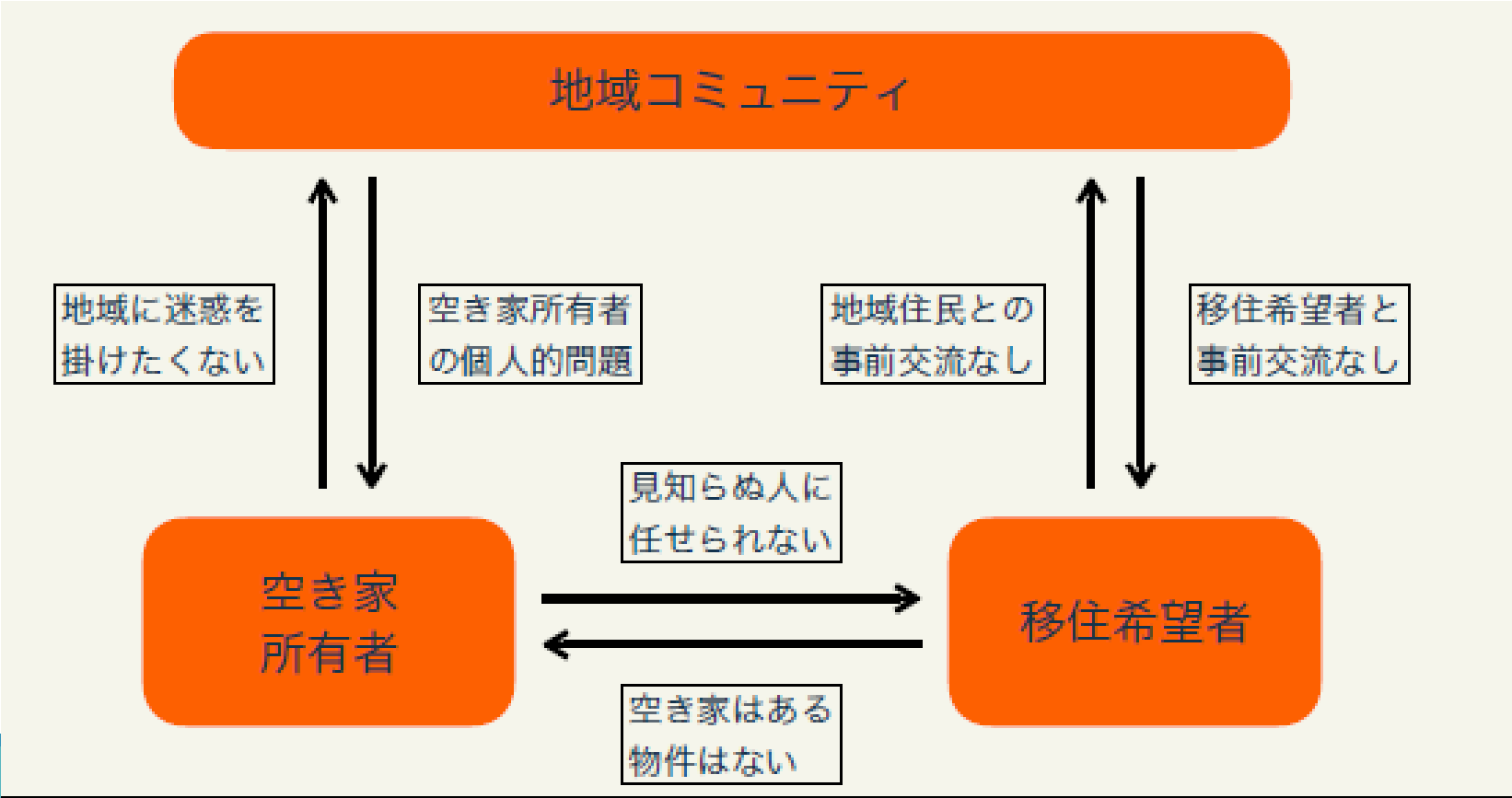
# IV 移住相談所のねらい

---



# 移住規模者と地域コミュニティ、空き家所有者の関係性

全国で空き家の増加が問題視される一方で、空き家問題は空き家所有者の個人問題とされています。その結果、空き家の利用は進まず、管理されていない空き家は老朽化し、人口減少と高齢化の負のスパイラルが進行しています。



# 移住規模者と地域コミュニティ、空き家所有者をつなぐ架け橋に！

空き家を地域全体の課題として地域コミュニティと町が協働し、空き家所有者に寄り添い、移住希望者と交流しながら空き家利活用を進める松田移住相談所を設置することを目指しています。

